

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成27年11月5日(2015.11.5)

【公開番号】特開2014-77933(P2014-77933A)

【公開日】平成26年5月1日(2014.5.1)

【年通号数】公開・登録公報2014-022

【出願番号】特願2012-226355(P2012-226355)

【国際特許分類】

G 03 B 21/14 (2006.01)

H 04 N 5/74 (2006.01)

【F I】

G 03 B 21/14 Z

H 04 N 5/74 Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年9月16日(2015.9.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の分割画像の一部を重複させて画像を表示させる表示システムにおいて前記分割画像を表示させる画像投影装置であって、

前記分割画像を取得する取得手段と、

前記取得手段により取得された分割画像のうち、他の画像投影装置により表示される分割画像と重複する重複領域に第1所定画像を付加する付加手段と、

前記付加手段により前記重複領域に第1所定画像が付加された第1分割画像を表示させる表示制御手段と、

前記表示制御手段により表示された前記第1分割画像と、前記他の画像投影装置により表示される第2分割画像であって、前記第1分割画像との重複領域に第2所定画像が付加された前記第2分割画像とが表示された状態の表示面に対する撮像画像に基づいて、自装置と前記他の画像投影装置による表示タイミングの同期判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定結果に応じて、前記表示制御手段による分割画像の表示タイミングを調整する調整手段と

を有することを特徴とする画像投影装置。

【請求項2】

前記付加手段は、前記第1所定画像を付加するための処理として、前記分割画像のうち、前記重複領域の一部の色を変更する処理を行うことを特徴とする請求項1に記載の画像投影装置。

【請求項3】

前記付加手段は、前記第1所定画像の付加位置が分割画像によって異なるように、動画を構成する複数の分割画像に対して前記第1所定画像を付加することを特徴とする請求項1又は2に記載の画像投影装置。

【請求項4】

前記判定手段は、前記撮像画像に含まれる前記重複領域の色情報に基づいて、自装置と前記他の画像投影装置による表示タイミングの同期判定を行うことを特徴とする請求項1乃至3の何れか1項に記載の画像投影装置。

【請求項 5】

前記判定手段は、自装置と前記他の画像投影装置による表示タイミングのずれ量を前記撮像画像に含まれる前記重複領域の色情報に基づいて判定し、

前記調整手段は、前記判定手段により判定されたずれ量に基づいて、前記表示制御手段による分割画像の表示タイミングを調整することを特徴とする請求項1乃至4の何れか1項に記載の画像投影装置。

【請求項 6】

前記付加手段は、自装置と前記他の画像投影装置による表示タイミングが一致していると前記判定手段により判定された場合、自装置と前記他の画像投影装置による表示タイミングが一致していると前記判定手段により判定されなかった場合よりも、前記第1所定画像が速く移動するように、動画を構成する複数の分割画像の重複領域における前記第1所定画像の付加位置を決定することを特徴とする請求項1乃至5の何れか1項に記載の画像投影装置。

【請求項 7】

複数の分割画像の一部を重複させて画像を表示させる表示システムにおいて前記分割画像を表示させる画像投影装置が実行する画像投影方法であって、

前記分割画像を取得する取得工程と、

前記取得工程により取得された分割画像のうち、他の画像投影装置により表示される分割画像と重複する重複領域に第1所定画像を付加する付加工程と、

前記付加工程により前記重複領域に第1所定画像が付加された第1分割画像を表示させる表示制御工程と、

前記表示制御工程により表示された前記第1分割画像と、前記他の画像投影装置により表示される第2分割画像であって、前記第1分割画像との重複領域に第2所定画像が付加された前記第2分割画像とが表示された状態の表示面に対する撮像画像に基づいて、自装置と前記他の画像投影装置による表示タイミングの同期判定を行う判定工程と、

前記判定工程による判定結果に応じて、分割画像の表示タイミングを調整する調整工程と

を含むことを特徴とする画像投影方法。

【請求項 8】

前記付加工程では、前記第1所定画像を付加するための処理として、前記分割画像のうち、前記重複領域の一部の色を変更する処理を行うことを特徴とする請求項7に記載の画像投影方法。

【請求項 9】

前記付加工程では、前記第1所定画像の付加位置が分割画像によって異なるように、動画を構成する複数の分割画像に対して前記第1所定画像を付加することを特徴とする請求項7又は8に記載の画像投影方法。

【請求項 10】

コンピュータを、請求項1乃至6の何れか1項に記載の画像投影装置の各手段として機能させるためのプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、複数の分割画像の一部を重複させて画像を表示させる表示システムにおいて前記分割画像を表示させる画像投影装置であって、前記分割画像を取得する取得手段と、前記取得手段により取得された分割画像のうち、他の画像投影装置により表示される分割画像と重複する重複領域に第1所定画像を付加する付加手段と、前記付加手段により前記重複領域に第1所定画像が付加された第1分割画像を表示させる表示制御手段と、前記表

示制御手段により表示された前記第1分割画像と、前記他の画像投影装置により表示される第2分割画像であって、前記第1分割画像との重複領域に第2所定画像が付加された前記第2分割画像とが表示された状態の表示面に対する撮像画像に基づいて、自装置と前記他の画像投影装置による表示タイミングの同期判定を行う判定手段と、前記判定手段による判定結果に応じて、前記表示制御手段による分割画像の表示タイミングを調整する調整手段とを有することを特徴とする。